

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	平成30年度
------	--------	------	--------

【 目 次 】

I.	履行確認	2
1.	維持管理業務	2
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
2.	運營業務	7
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	10
II.	サービスの質の評価	11
	1. 維持管理業務	
	2. 運營業務	
	3. 自主事業	
	4. 総合評価	
III.	サービスの安定性評価(財務状況)	14
	1. 事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
	2. 経営分析指標	
IV.	総合評価	16
	1. 目標	
	2. 評価結果	

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	平成30年度
指定管理者	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 指定期間：平成29年3月～令和2年3月	所管課	文化観光スポーツ部 空手振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 利用者が快適に施設を利用するために、日々の清掃を実施する。		○	3名体制で毎日実施。 施設全てのトイレ・シャワー室は中性洗剤等を用いて毎日清掃。 道場施設、展示施設、特別道場は催事開催前後に清掃を実施する 他、専有利用している時間帯を除き毎日清掃。 駐車場、園路は巡回清掃を実施。	道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに指定管理者へのヒアリング、業務日誌の確認等を実施。 日常清掃は、道場施設2名、展示施設1名の3名体制により毎日清掃が行われており、各施設は清潔に保たれている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き衛生管理の徹底に取り組むこと。
〈定期清掃〉 定期的な清掃を実施する。		○	年1回実施。 ガラス、道場施設及び展示施設の床面（ビニールタイル系、コンクリート・石材系、絨毯）、武道場及び特別道場の床面等を専用の器具、洗剤による清掃を実施	指定管理者へのヒアリング、業務日誌の確認等を実施。 定期清掃では、ポリッシュ等を使用するとともに、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き衛生管理の徹底に取り組むこと。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><環境衛生> 施設を安全に運用するために衛生設備の管理を徹底する。</p>		○	<p>残留塩素測定：週1回／飲料水貯水槽の清掃・点検：年1回／空気環境の測定業務：年6回／鼠・昆虫等の除去作業：夏冬の2回／水質検査：年1回／雑用水水質検査：年6回／簡易専用水道検査：年1回</p>	<p>指定管理者へのヒアリング、環境衛生業務の報告書、巡回日誌の確認を実施。環境衛生面では、委託先事業者による定期点検が行われていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き適切な保守点検を実施すること。</p>
<p><設備点検> 電気設備、消防設備の点検等を実施し、管理を行う専門スタッフを配置する。</p>		○	<p>業務委託先である(株)沖縄ダイケンによる消防設備及び防災設備機器等の一式を点検し、点検結果報告書を豊見城消防署に提出。なお、防煙垂れ壁の駆動装置に不具合があったため、改善作業を実施し、完了した。 受電設備、配電設備、非常用発電設備等の電気設備点検を委託先である沖縄電気保安協会により年6回実施。</p>	<p>指定管理者へのヒアリング、報告書、巡回日誌の確認を実施。設備関係では、施設の点検、消防設備等の点検及び報告がされていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き適切な保守点検を実施すること。</p>

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<開館日>		○	8時30分～21時30分の間、常時1名体制による警備を実施。	日常の警備業務を確認した他、指定管理者へのヒアリング、警備日誌の確認を実施。 開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる機械警備が実施され異常があった場合には警備員が急行する体制が構築されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な保安・警備を実施すること。
<閉館日>		○	8時30分～17時15分の間（休憩1時間）、1名体制による警備を実施。			
<夜間>		○	21時30分～翌8時30分の間、機械警備を実施。また25時頃には巡回点検警備を実施。			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件につき20万円未満の物については指定管理者が実施。		○	空調不具合によるフィルター清掃や部品の取り替え／資料室備品の破損・不具合の修繕や取り替え／道場舞台右側上部壁面の破損を修繕 その他、経年調査を踏まえた瑕疵工事により、建設工事の施工業者による補修を実施した。また、定期的に除草作業や施設壁面等の洗浄作業を行っている。	補修箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリングを実施。 また、経年調査による瑕疵工事においては、県施設建築課を通し補修報告書の確認を行った。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き修繕対象となる箇所の確認等、日常的な点検を実施していくこと。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
なし	○		<p><指定管理に係る備品> シュレッダー /資料室「3Dメガネ」/ カラーコーン /ブラインド カーテン及び パーティション</p> <p><自主事業に係る備品> 電動かき氷機 及び全自動製 氷機 (レスト ラン事業)</p>	備品の現物を確認	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 備品の購入に当たっては、必要性について慎重に検討すること。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防犯、応急手当の訓練実施。AED、救急薬品等の整理。県及び警察、消防等の関係機関を含めた危機管理体制の構築、危機管理マニュアルの整備を実施する。防災訓練を豊見城消防署の指導のもと定期的に実施する。	○		<p>消防設備点検業務委託業者の指導のもと、①消防・避難誘導訓練、消防設備機器の取扱訓練、②道場施設でテロによる火災が発生したことを想定した初期消火活動、避難誘導訓練、館内防火・防災設備の操作訓練を実施。訓練結果について、豊見城消防署に報告した。</p>	指定管理者へのヒアリングを実施し、危機管理マニュアルの整備状況、消防署への報告書を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な防犯・防災対策に取り組むこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観覧料の収受		○	<p>〈道場施設〉 券売機を設置するとともに、施設使用料については窓口にて職員が料金徴収を行った。</p> <p>〈展示施設〉 券売機を設置し、両替への対応や領収書の発行等については、受付カウンター職員が対応した。</p> <p>〈屋外鍛錬場、特別道場前庭、特別道場〉 管理事務所窓口にて職員が料金徴収を行った。</p>	券売機（道場施設入口、資料室入り口）の設置、稼働状況、収受した現金の管理方法等を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。
1. 維持管理業務取組改善案	維持管理業務について適切に実施されており、安全・安心に利用できるように引き続き適切な維持管理に努め、適宜所管課への報告・相談を行う。					

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		平成29年度 実績	事業計画 (目標値)	平成30年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
					前年 比	計画 比		
利用者 数	道場施設	道場□(共用利用)	881人	1000人	2251人	255.6%	225.1%	目標値に対する達成率の平均は124.2%となっている。道場施設に関しては、前年に比べて利用者が大幅に伸びており、今後も利用が順調に推移する見込みである。
		道場□(専用利用)	136団体	230団体	151団体	111.0%	65.7%	
		鍛錬室□(共用利用)	1116人	2000人	1159人	103.9%	58.0%	
		鍛錬室□(専用利用)	331団体	450団体	499団体	150.8%	110.9%	
		研修室□(専用利用)	420団体	500団体	617団体	146.9%	123.4%	
		小会議室□(専用利用)	160団体	250団体	405団体	253.1%	162.0%	
	展示施設	一般□(個人)	5989人	7000人	5419人	90.5%	77.4%	目標値に対する達成率の平均は55.5%となっている。供用開始から1年経過したH30年度は、来客数が伸び悩んだ。今後、集客力のある企画展示を行うなど対策が必要である。
		一般□(団体)	1184人	3000人	924人	78.0%	30.8%	
		高・大学生□(個人)	356人	500人	444人	124.7%	88.8%	
		高・大学生□(団体)	176人	1000人	139人	78.0%	13.9%	
		小・中学生□(個人)	1048人	2000人	949人	90.6%	47.5%	
		小・中学生□(団体)	575人	1000人	684人	119.0%	68.4%	
		シルバー□(65歳以上)	4875人	7000人	4309人	88.4%	61.6%	
計								
					評価 (①利用状況)	S	※道場施設	
					評価 (①利用状況)	C	※展示施設	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析□課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉 休館日以外	<ul style="list-style-type: none"> 水曜日 12月30日 ～1月3日 	指定管理者へのヒアリングのほか、毎月の月報により確認	報告書のとおり適切に実施されている。 ・臨時開館の実施 (5/9、7/4、8/1、8/8、10/31、11/21) ・開館時間の繰り上げ (5/13、8/1～8/8、10/20、10/28) を実施	良好 休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。
〈開館時間〉 展示施設：9時～18時 展示施設以外：9時～21時	展示施設 9時～18時 展示施設以外 9時～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析□課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈専用利用〉 館内掲示、HPにて随時館の空き状況を提供する。FAX等にて利用申請受付。前金の支払いにて利用許可としている。 〈共用利用〉 空きがある場合は随時受け。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施に当たっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を考慮した設定とし、HPにて随時空き状況をお知らせする。		○	〈専用利用〉 沖縄空手会館利用規程に基づき公平・平等性を基本に提供した。空き状況は、電話対応はもとより沖縄空手会館HPや道場施設屋外掲示板でお知らせしている。利用申請受付は窓口対応をはじめ、FAX及び電子メール等でも対応している。前金の支払いにて利用許可としている。 〈共用利用〉 事業計画のとおり対応した。	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり、適切に実施されている。	概ね良好であるが、予約受付開始日の問い合わせについて、沖縄空手会館利用規程に定められた区分に基づく、より丁寧な説明に努めること。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析□課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
国・県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携	○		新聞、テレビ、ラジオ、雑誌・書籍、WEB等様々な媒体で37件の広報を実施した。	指定管理者へのヒアリングにより確認。OCVB本社と連携した広報、雑誌等への広告掲載等を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。主にパブリシティによる広報であり、海外メディアによる取材対応も多い。引き続き適切な広報に努めること。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析□課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に研修会を実施するとともに、個人面談を随時実施し、注意喚起を促した。 ・職員会議を定期的に行い、懸念事項等を事前にチェックした。 ・施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認し実施している。 ・個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。また、廃棄に際してはシュレッダーにかけている。 	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析□課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【継続】 レストラン	○		空手カレー、 ジュシーご 飯、サーター アンダギーの 新規メニュー を追加した。	指定管理者へ のヒアリング により確認	新規メ ニューを追 加したもの の、収入は 計画比の 64.6%にとど まった。	自主事業は全て計画を下回っ ている状況である。 レストラン事業においては、 新規メニューを追加したもの の、前年度と収入はほぼ横ば い(微減)であった。職員の 定数確保ができず、安定的な 営業時間が確保できなかった ことが主要因であるが、県民 や観光客への周知方法等を含 め、実施内容について検討す る必要がある。 売店事業においては、酒類販 売免許の取得やオリジナル商 品の販売等の経営努力の成果 が出て収入は前年度比115.6% となったが、計画を下回る結 果となった。次年度以降は実 績を踏まえた計画を立てる必 要がある。 空手体験教室及びその他事業 の収入は、前年度比41.4%、 計画比においても大幅に下回 る結果となった。空手体験教 室については、講師の確保が ままならず、安定的に運営で きなかつたことが主な原因で あるが、利用者や県民、観光 客への周知等を含め実施内容 について検討し、実績を踏ま えた計画を立てて事業を展開 していく必要がある。
【継続】 その他	○		ケータリング サービス等		収入は計画 比の15%にと どまった。	
【継続】 売店	○		・空手関連 グッズの開発 として、タオ ル、空手の樹 を制作 ・酒類販売免 許を取得し、 オリジナル空 手泡盛を販売 開始 ・2事業者製 造の銅鑼焼、 せんべいをオ リジナル商品 として販売開 始		酒類販売免 許を取得 し、オリジ ナル商品を 販売する等 を行った が、収入は 計画比の 76.7%にとど まった。	
【継続】 空手体験教室	○		空手体験教室 の実施		収入は計画 比の16.2%に とどまっ た。	
2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	展示施設への来客を促すため、企画展示内容の見直しを行う。 自主事業については、安定的に運営できるよう職員配置の見直しや、利用者、県民 及び観光客への周知方法等をはじめ実施内容について見直しを行う。					

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	平成29年度評価 (回答数：27団体)	平成30年度目標	平成30年度評価 (31団体)			
運営業務	接客対応	〈満足度〉 92.6% ・満足 88.9% ・ある程度満足 3.7% ・普通 7.4% ・やや悪い 0% ・悪い 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 96.8% ・満足 87.1% ・ある程度満足 9.7% ・普通 3.2% ・やや悪い 0% ・悪い 0% 〈改善要望〉 なし	S	スタッフの対応については、概ね高い評価を受けているが、今後とも顧客満足度の向上を目指し、職員研修の実施等、社員教育に努める。 アンケートの結果から分かるとおり、接客に対する顧客満足度は高い。引き続き丁寧な接客に努めること。
	施設・設備 (備品の充実度)	〈満足度〉 81.5% ・満足 70.4% ・ある程度満足 11.1% ・普通 11.1% ・やや悪い 7.4% ・悪い 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 87.1% ・満足 77.4% ・ある程度満足 9.7% ・普通 9.7% ・やや悪い 3.2% ・悪い 0% 〈改善要望〉 ・大型スクリーンの設置、スクリーン及びプロジェクターを増やして欲しい。 ・トイレにウォシュレットを設置して欲しい。	A	備品については、概ね高い評価を受けているが、利用者のニーズに沿って、備品の充実に向けて県所管課との調整を図りながら、年度ごとに充実を図る。 備品については、利用者からの要望をもとに、連絡調整会議等で協議しながら進めて行く必要がある。
	施設・設備 (駐車場について)	〈満足度〉 77.7% ・満足 44.4% ・ある程度満足 33.3% ・普通 7.4% ・やや悪い 7.4% ・悪い 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 77.4% ・満足 61.3% ・ある程度満足 16.1% ・普通 6.5% ・やや悪い 6.5% ・悪い 3.2% 〈改善要望〉 ・催事が重なる駐車場の足りない。駐車するのに時間を要し、苦勞する。 ・大規模催事は当初から県立武道館で計画している（機会損失）。 ・駐車場が充実していればさらに利用しやすいと思う。	B	豊見城市が整備を進める近隣の駐車場（公園内駐車場）について、完成後連携を強化する。 大規模イベントや催事が重なる駐車場の不足状況にある。豊見城城址跡地利用計画等を進める市と連携し、利便性の向上に取り組む必要がある。

利用条件 (利用した感想)	<p>〈満足度〉 96.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 59.3% ・ある程度満足 37% ・普通 3.7% ・やや悪い 0% ・悪い 0% 	〈満足度〉 —	<p>〈満足度〉 90.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 45.2% ・ある程度満足 45.2% ・普通 3.2% ・やや悪い 3.2% ・悪い 3.2% 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用条件について、利用者の方に丁寧に説明し、理解いただく。 ・施設へのアクセスについては、マップコードのPRやHPの情報充実に努める。 ・備品については、県所管課と調整を図りながら年度ごとに充実に図る。 	利用者満足度は高く、評価できる。改善要望にあるとおり、施設に関して利用者への丁寧な説明、情報提供に努めること。
利用条件 (利用手続き)	<p>〈満足度〉 74.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし 74.1% ・普通 18.5% ・問題あり 7.4% 	〈満足度〉 —	<p>〈満足度〉 48.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし 48.4% ・普通 35.5% ・問題あり 16.1% 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・県所管課と調整し、申請書様式の見直しや簡素化を図りたい。 ・受付時の丁寧な説明と柔軟な対応を行う。 ・担当職員の業務量を見直し、見積書発行等について改善を図る。 	申請書類等に関する要望について、連絡調整会議で検討する必要がある。施設の利用に関して、利用者への丁寧な説明、情報提供に努めること。
自主事業 (レストラン・売店)	<p>〈満足度〉 93.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 73.3% ・ほぼ満足 20% ・普通 6.7% ・やや不満 0% ・不満 0% 	〈満足度〉 —	<p>〈満足度〉 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 92.9% ・ほぼ満足 7.1% ・普通 0% ・やや不満 0% ・不満 0% 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの対応については、レストラン・売店共に高い評価を受けている。 ・リピーターが増加する中、来館者のレストラン利用は22.6%と低迷しており、メニューの追加やニーズに沿った対応を検討する。 ・施設の利用者は売店を利用しない傾向が高い。ニーズを踏まえた商品開発を引き続き行い、販売増加に繋げたい。 	レストラン及び売店の利用者の満足度は高いが、来館者の利用率が低い。そのため、県民や観光客への周知方法等をはじめ実施内容について検討する必要がある。また、自主事業として運営しているレストラン、売店、体験教室、その他事業について、それぞれで満足度やニーズを調査できるようアンケート項目の見直しを図る必要がある。

総合評価 (各評価項目 の平均)	〈満足度〉 85.9%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 83.3%	評価 (②満足 度)	満足度が比較的 低い「利用手続 き」について は、令和元年度 より申請様式を 簡素化するなど の改善を図って いる。自主事業 については、 ニーズに合った 商品を提供して いく工夫をして いきたい。	概ね利用者からの 評価は高いが、要 望を踏まえて引き 続き改善を図って 行く必要がある。 利用者の意見をよ り反映できるよう、アンケートの 評価項目の見直 し、回収数を上げ る工夫を行う必要 がある。
				A		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1：満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合（5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合）

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

Ⅱ. サービス の質の評価 取組改善案	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。
---------------------------	--

III. サービスの安定性評価（財務状況）

1. 事業収支

(1) 収入

(千円)

収入項目		平成29年度実績	事業計画	平成30年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	道場施設	6,662	8,900	10,875	163.2%	122.2%	
	展示施設	3,084	4,100	2,613	84.7%	63.7%	
	計	9,746	13,000	13,488	138.4%	103.8%	
指定管理料		63,000	63,000	63,812	101.3%	101.3%	
自主事業収入	レストラン	4,580	7,000	4,525	98.8%	64.6%	
	売店	5,311	8,000	6,140	115.6%	76.8%	
	空手体験教室	203	1,000	162	79.8%	16.2%	
	その他	550	1,000	150	27.3%	15.0%	
	計	10,644	17,000	10,977	103.1%	64.6%	
合計（A）		83,390	93,000	88,277	105.9%	94.9%	

〈現状分析・課題〉

利用料金収入は、道場施設は前年及び計画を上回ったものの、展示施設は開館から1年経過して観覧者数が減ったことから、前年及び計画を下回った。

自主事業収入については、売店事業が前年を上回ったものの、それ以外は前年及び計画ともに下回っている。県民や観光客への周知等を含め、実施内容について検討、改善する必要がある。

(2) 支出

(千円)

支出項目	平成29年度実績	事業計画	平成30年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	39,404	36,889	36,887	93.6%	100.0%	
謝金	30	100	0	0.0%	0.0%	
旅費	410	386	65	15.9%	16.8%	
食料費	152	12	1	0.7%	8.3%	
消耗品費	1,083	564	1,093	100.9%	193.8%	
印刷製本費	363	400	456	125.6%	114.0%	
燃料費	27	40	22	81.5%	55.0%	
被服費	41	24	0	0.0%	0.0%	
修繕費	50	350	32	64.0%	9.1%	
光熱水費	15,224	16,908	14,367	94.4%	85.0%	
商品仕入費	6,104	5,400	6,420	105.2%	118.9%	
通信運搬費	240	859	158	65.8%	18.4%	
広報宣伝費	557	700	201	36.1%	28.7%	
支払手数料	398	100	116	29.1%	116.0%	
委託費	21,561	23,110	22,345	103.6%	96.7%	
賃借料	2,468	2,519	2,583	104.7%	102.5%	
備品購入費	112	100	150	133.9%	150.0%	
保険料	125	235	230	184.0%	97.9%	
租税公課費	69	3,391	2,842	4118.8%	83.8%	
負担金	0	13	0	#DIV/0!	0.0%	
交際費	0	20	2	#DIV/0!	10.0%	
渉外費	0	200	0	#DIV/0!	0.0%	
雑費	201	180	13	6.5%	7.2%	
合計（B）	88,619	92,500	87,983	99.3%	95.1%	

〈現状分析・課題〉

概ね前年及び計画並の水準である。

展示施設の利用料及び自主事業の大幅な増収が見込めないことから、施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理・維持しつつも、光熱水費をはじめ経費節減に努める必要がある。

2. 経営分析指標

評価指標	平成29年度実績	事業計画	平成30年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支 (C) (収入(A)－支出(B))	△ 5,229千円	500千円	294千円	-5.6%	58.8%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	-6.3%	0.5%	0.3%	-5.3%	61.9%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	11.7%	14.0%	15.3%	130.7%	109.3%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	44.5%	39.9%	41.9%	94.3%	105.1%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	24.3%	25.0%	25.4%	104.4%	101.7%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	1,328.0円	776.4円	738.5円	55.6%	95.1%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	944.1円	528.8円	535.6円	56.7%	101.3%	
(現状分析・課題) 沖縄空手会館管理運営に関する基本協定書及び沖縄空手会館指定管理者募集要項に基づき、沖縄空手会館に係る光熱水費の精算(平成28～30年度分)があったため、収益率は0.3%とA評価であるが、自主事業の改善を中心に収入の増に向けた取組を強化する必要がある。						

評価 (③財務状況)

A

【評価基準 (③財務状況)】
 収益率 (事業収支／収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	自主事業を除く収支は黒字であることから、自主事業について実施内容を見直すことで、収益率の改善を図る。
----------------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等其他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	128,000人	137,000人	146,000人	155,000人	
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	
財務指標	③財務状況	収益率	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	平成29年度実績	事業計画(目標値)	平成30年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和元年目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	66,730人	119,000人	119,140人	100.1%	-	道場施設に関しては、前年に比べて利用者が大幅に伸びており、今後も利用が順調に推移する見込みである。一方、展示施設は来客数が伸び悩んだ。今後、集客力のある企画展示を行うなど対策が必要である。	A	展示施設への来客を促すため、企画展示内容の見直しを行う。自主事業については、安定的に運営できるよう職員配置の見直しや、利用者、県民及び観光客への周知方法等をはじめ実施内容について見直しを行う。	128,000人
	②満足度	満足度	85.9%	-	83.3%	97.0%	-	概ね利用者からの評価は高いが、要望を踏まえて引き続き改善を図って行く必要がある。利用者の意見をより反映できるよう、アンケートの評価項目の見直し、回収数を上げる工夫を行う必要がある。	A	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	-6.3%	-	0.3%	-4.8%	-	沖縄空手会館管理運営に関する基本協定書及び沖縄空手会館指定管理者募集要項に基づき、沖縄空手会館に係る光熱水費の精算(平成28～30年度分)があったため、収益率は0.3%とA評価であるが、自主事業の改善を中心に収入の増に向けた取組を強化する必要がある。	A	自主事業を除く収支は赤字であることから、自主事業について実施内容を見直すことで、収益率の改善を図る。	0.3%
活動指標	④重点取組事項	自主事業(売店・レストラン)	(満足度) 93.3% ・満足 73.3% ・ほぼ満足 20% ・普通 6.7% ・やや不満 0% ・不満 0%	-	(満足度) 100% ・満足 92.9% ・ほぼ満足 7.1% ・普通 0% ・やや不満 0% ・不満 0%	107.2%	-	レストラン及び売店の利用者の満足度は高いが、来館者の利用率が低いため、県民や観光客への周知方法等をはじめ実施内容について検討する必要がある。	A	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	95%
総合評価							A				

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-1～Ⅲから転記する。

※「130目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率
 S：110%以上
 A：100%以上、110%未満
 B：80%以上、100%未満
 C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)
 S：90%以上
 A：80%以上、90%未満
 B：70%以上、80%未満
 C：70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)
 A：0%以上
 B：-5%以上、0%未満
 C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価
 S：目標を大きく上回る
 A：目標を概ね達成
 B：目標を下回る
 C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

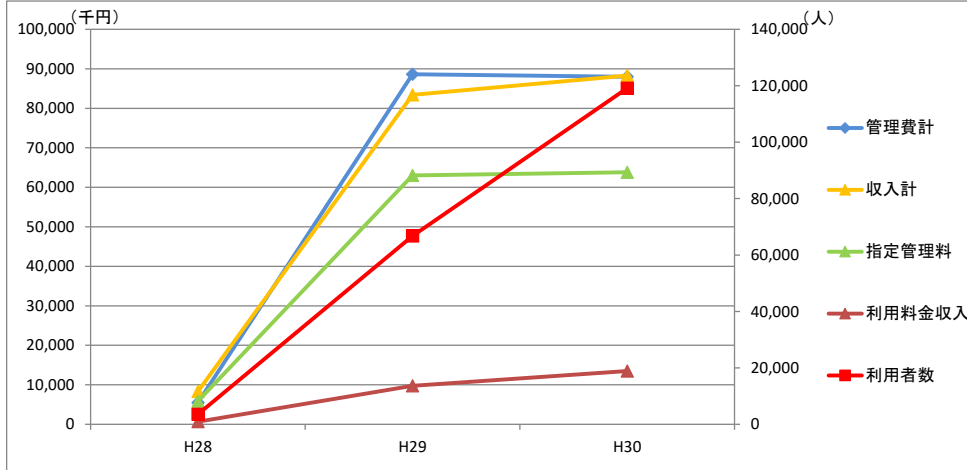
総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

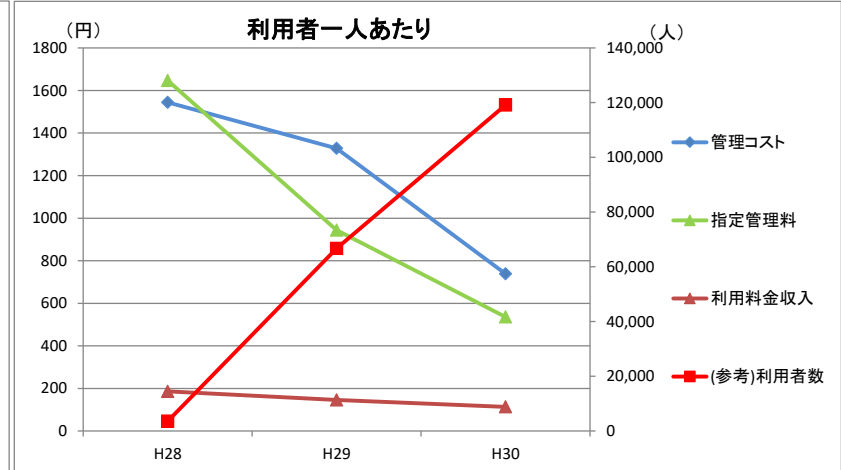
経営状況分析シート【施設名称:沖繩空手会館】

指標			直営			指定管理															R1	R2	R3
成果指標	利用者数	目標	単位	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30				
		実績	人																				
財務指標	指定管理料		千円														5,864	63,000	63,812	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	真負担割合(指定管理料/管理費計)		%														106.7%	71.1%	72.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
/単位	利用者数	目標															-	-	119,000	128,000	137,000	146,000	
	利用者数	実績															3,560	66,730	119,140				
		目標比															-	-	100.1%				
		H29比	%														5%	100%	179%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	指定管理料		千円														663	9,746	13,488				
	利用料金収入		千円														8,302	83,390	88,277				
	利用料金比率(利用料金/収入計)		%														33.8%	-6.3%	0.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	収入計		千円														2,804	-5,229	294	0	0	0	
	管理費計		千円														5,498	88,619	87,983				
	収支		千円																				
	収益率(収支/収入計)		%																				
	一人あたり管理コスト		円														1544	1328	738	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	一人あたり指定管理料		円														1647	944	536	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	一人あたり利用料金収入		円														186	146	113	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

H30年度	第1回沖繩空手国際大会の開催等もあり、利用者が増加した。
H29年度	実質的に供用開始初年度
H28年度	平成29年3月4日供用開始
H27年度	



目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方などを記載

H30年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H31年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H32年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H33年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値